

駅前通りで「夢あかり」開催 夕闇に幻想的な光が浮かぶ

8月15日、夕暮れを過ぎたJR陸中山田駅前の通りはほのかな光の列で彩られました。「夏の夢あかり」と名付けられたこのイベントは、花火大会に合わせ町民に幻想的な雰囲気を楽しんでもらおうと、まちづくり協議会「やまだ夢プロジェクト」(大杉繁雄^{しげお}会長)が開催したものです。この日のために、同協議会の呼び掛けに応じた町内の保育所や子供会がペットボトルを再利用した手作りのキャンドルスタンド約300個を制作。午後7時に一斉にろうそくに火がともされると、街灯が消された約140mの通りには光の列が浮かび上がり、花火会場へ向かう家族連れらが足を止めて見入っていました。



商工会青年部主催の花火大会 5,000発の大輪が夜空彩る

山田町商工会青年部(武藤庄一郎^{しょういちろう}部長)が主催する「第4回やまだの花火大会」が8月15日、山田漁港を会場に開かれました。花火に先立ち午後1時からカラオケ大会が開かれ、30人の参加者が自慢の歌声を披露。午後8時に打ち上げが始まると、大型の芸術玉やスターマインなど約5,000発が夜空を彩り、会場を埋め尽くした多くの観客から大きな歓声と拍手が上がりました。大会の開催に当たっては、町内100カ所に設置された募金箱に町民の皆さんから28万円を超える募金があったほか、町内の企業や団体からもたくさんの協賛が寄せられました。

松本哲也さんらが熱演 山田八幡宮で初のライブ

8月15日、「鎮守の杜^{もり}ライブ」が山田八幡宮(佐藤明徳^{あきなり}宮司)境内で開かれました。お盆と終戦記念日に合わせ、音楽で戦没者を慰霊しようと同実行委員会が初めて開催したものです。ライブに先立ち八幡大神楽の奉納が行われた後、町内の音楽愛好家2人からなるギターとドラムのセッション「Ryo and Jooh^{りょ}」がジャズやポップスなど約10曲を演奏。続いて横山史穂子^{しほこ}さん(宮古市・青猿神社神職)が雅楽の演奏を披露し、ひちりきや笙の音色が境内に響き渡りました。日が落ちかがり火がいっそう明るさを増したころ、奥州市出身のミュージシャン松本哲也^{しん}さんが登場。自身の生い立ちなどを語りながらバラードなど十数曲を歌い上げると、会場に集まった150人の観客はその澄んだ歌声にすっかり引き込まれていました。



松本哲也さん＝ステージ向かって左＝の澄んだ歌声が境内に響き渡りました(上写真)／かがり火のともる中、笙を演奏する横山史穂子さん



今月の題字

村木優奈ちゃん
(荒川小2年)

町のわだい

交通事故防止への功績讃える 野崎さんに感謝状を贈呈

前山田町交通指導隊隊長の野崎文子さん（境田町・75）に、このたび岩手県交通指導隊連絡協議会長から感謝状が贈られました。平成6年に山田町交通指導隊の隊員となった野崎さんは、在職中8年間同隊の隊長を務め、長年にわたり町の交通事故防止と交通安全の普及に努めてきました。今回の表彰は、野崎さんが本年3月末をもって退任したことから、これまでの功績を讃えるとともにその労をねぎらい贈られたものです。野崎さんは「健康で続けてこられたことが何よりの幸せ。皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです」と話していました。



スコットランドから33人が来町 マリンスポーツを通じ交流

8月11日、スコットランドのボーイスカウトが本町を訪れ、沿岸地区の子供たちと交流を深めました。来町したのは2日から静岡県で開催された第15回日本ジャンボリーに参加するため来日した高校生ら33人で、20年来の交流がある岩手県での滞在期間中に、本町で交流会が開かれたものです。この日、一行は朝から龍昌寺で座禅を体験した後オランダ島に渡り、出迎えた山田、釜石、大槌のボーイスカウトや高校生ボランティアたちとマリンスポーツやスイカ割りなどを通じて交流を深めながら、真夏の日を満喫していました。

織笠の竹内サツさんが100歳に 周囲から温かい祝福受ける

織笠の竹内サツさん（明治43年生まれ）が、8月25日で100歳の誕生日を迎えました。同日、沼崎喜一町長が特別養護老人ホーム平安荘（井上義一理事長）を訪問し、長寿を祝福。「おめでとうございませう。これからは長生きしてください」と長寿祝い金を手渡しました。この後施設では竹内さんの100歳を祝う会が開かれ、竹内さんに花束やバースデーケーキが贈呈されたほか、記念品として施設の職員が制作した竹内さんの生活の記録や家族からのメッセージが収録されたDVDが上映されるなど、訪れた娘さんらに囲まれ和やかに長寿を祝いました。

